

令和6年度第3回奈良 DWAT（奈良県災害派遣福祉チーム）研修開催要項 避難所実践研修 ～基礎編～

テーマ

「避難所における DWAT の活動内容と他チーム・他機関連携について考える」
～命をつなぐ連携と DWAT の役割使命～

1. 趣旨

突然の自然災害等により避難所が開設されると避難者は、ためらい・迷い・葛藤・不安を抱えて避難生活を送ることになります。

令和6年能登半島地震では、全都道府県の災害派遣福祉チームが石川県に派遣され、1,573名の隊員が活動しました。今回の活動を通して、災害派遣福祉チームの活動が多く市の市民や行政、保健医療関係の支援チームに知られるきっかけになったと言えます。

今後は、さらに災害派遣福祉チームとして福祉の専門的な視点から、保健・医療等の他の専門職チームと連携し、災害関連死の予防のため、被災者の生活を支えるために活動スキルを高めることが求められています。

本研修では、災害対応に関する共通言語である CSCATTT についての理解を深めつつ、災害派遣福祉チームが活動するために必要な知識を学ぶとともに、演習を通して自ら考えることのできる人材の育成を目指します。被災者支援を想定し、こういう時はこうする、こういう人にはこう支援するという HowTo ではなく、対象者やその人を取り巻く環境とリソースからできる支援を考えるトレーニングを行います。

なお、本研修は、神戸学院大学 伊藤隆博 准教授の文部科学省科学研究費助成事業（課題番号 19K13941）の助成を受け開催します。

2. 日 時 令和6年12月1日（日） 10:00～17:00

3. 会 場

奈良県社会福祉総合センター5階研修室A

（近鉄：畝傍御陵前駅 東出口 徒歩3分）

〒634-0061 橿原市大久保町320-11 TEL:0744-29-0111

4. 主 催 奈良県災害福祉支援ネットワーク

（事務局：奈良県、社会福祉法人奈良県社会福祉協議会）

5. 参加対象 奈良県災害派遣福祉チーム員（奈良 DWAT 員）

6. 参加者準備物 ・動きやすい服装、飲料水、昼食

・奈良県災害派遣福祉チームマニュアル～災害時「要配慮者」の支援とは～ver.1
（DWAT登録研修時に1冊配布）

7. 講師 ○神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 伊藤 隆博 准教授

資格：社会福祉士・精神保健福祉士・防災士

経歴：大学卒業後社会福祉士を取得し、医療機関にてMSWとして伊勢赤十字病院等に勤務。また、災害救護班員、災害派遣医療チーム（DMAT）の業務調整員として活動。

その後、岩手県立大学社会福祉学部准教授を経て現職。

日本災害医学会評議員、日本災害医学会 BHELP インストラクター・世話人

○ファシリテーター数名

8. 研修内容

9:40～10:00 (20分)	受付
10:00～10:10 (10分)	開会挨拶、オリエンテーション
10:10～11:05 (55分)	講義1 災害派遣福祉チームの意義と活動内容 演習1 災害発生時の初期対応
11:05～12:10 (65分)	講義2 災害対応に関する共通言語 CSCATTT 演習2 避難所到着～活動開始時の CSCA
12:10～13:00 (50分)	昼休憩
13:00～13:30 (30分)	講義3・演習3 避難所運営と生活環境のアセスメント
13:30～14:00 (30分)	講義4・演習4 避難所での環境整備と予防的対応
14:00～14:30 (30分)	講義5・演習5 避難者のスクリーニング
14:30～14:40 (10分)	休憩
14:40～15:40 (60分)	講義6・演習6 避難者への個別支援と多職種連携
15:40～16:10 (30分)	講義7・演習7 共助・地域支援・地域移行
16:10～16:20 (10分)	休憩
16:20～16:30 (10分)	到達確認小テスト (試験時間は5分間)
16:30～17:00 (30分)	振り返り、質疑応答、研修評価 各グループ

9. 申込〆切 令和6年11月22日(金)

<申込・問合せ先> 〒634-0061 橿原市大久保町320-11
社会福祉法人 奈良県社会福祉協議会
総務企画課(増井・石川)

TEL : 0744-29-0100(代) FAX : 0744-29-0101

E-mail : naradwat@nara-shakyo.jp